



災害時における配慮と支援

災害時こそ「人権尊重の視点」を

先の熊本地震では、高齢者、障害者、乳幼児などに對する配慮の必要性が改めて認識されました。9月1日の「防災の日」を機に、災害時における必要な配慮と支援について、人権尊重の視点から考えてみましょう。

災害時における「要配慮者」とは？

地域の中には、高齢者や障害者、要介護者、難病患者、乳幼児、妊産婦など、避難するときや避難生活において特に配慮が必要な人たちがいます。熊本地震では、周囲に迷惑をかけるのではと案じ、避難所へ行くことをためらったり、車中泊を続け、体調を悪化させたりする方もいました。

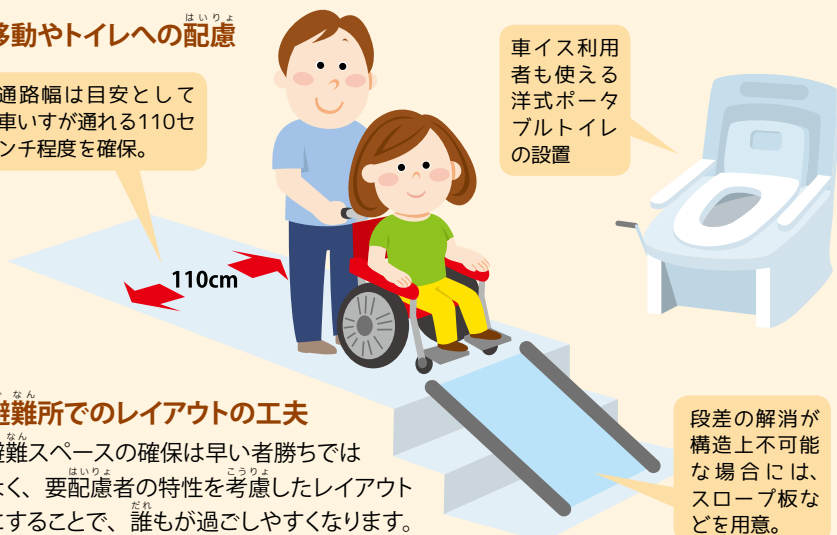
避難所は、被災して苦しい立場の方が集まる場所です。だからこそ、配慮が必要な方に対して「思いやりの心」を持つて接すること、それぞれの特性を理解した上で、できるだけ負担が軽くなるように譲り合い、工夫し、みんなで支え合うことが大切です。

「誰もが安心して過ごせる避難所」づくりのポイント

～普段から「自分たちのこと」として地域で話し合っておきましょう～

移動やトイレへの配慮

通路幅は目安として車いすが通れる110センチ程度を確保。



イス利用者も使える洋式ポータブルトイレの設置

段差の解消が構造上不可能な場合には、スロープ板などを用意。

避難所でのレイアウトの工夫

避難スペースの確保は早い者勝ちではなく、要配慮者の特性を考慮したレイアウトにすることで、誰もが過ごしやすいになります。

- 移動の際に困難を生じる人は、スムーズに通路に出られるように通路側に。
- 視覚障害のある人は自身の位置が把握しやすい壁際に。
- 自閉症や認知症などで、大きな音が苦手な方は、静かな場所に。
- 聴覚障害のある人は掲示板の近くなど、視覚での情報が伝わりやすい場所に。
- 静養室、授乳室、更衣室、育児室などの個別スペースを確保。

地域のみなさんで日頃から話し合っておくことが大切です。



「日頃からの「備え」の大切さ

熊本地震で、困っている人を助けるために大きな力を発揮したのは、「地域の人たち」でした。地域でのつながりを強めることが「災害に強い街づくり」につながります。

●自治会等で…

日頃から見守りや声掛けを行い、いざという時に、地域みんなが安全に避難できるよう、災害時にできることを考え役割を分担しておきましょう。

●要配慮者およびそのご家族は…

日頃から地域の方々や積極的なつながりを持つておくことが大切です。また、避難生活において特別な配慮を必要とする方のための「福祉避難所」の場所や避難方法も確認しましょう。

一家庭での対策

- 災害時用の家庭での備蓄食料・飲料水は最低3日分を用意しましょう。
- ライフラインが使えないことを想定して1週間分の蓄えがあれば安心です。
- おすすめは「ローリングストック(買い置き)法」。特別な保存食を用意するのではなく、米やカップ麺、レトルト食品などを古いものから使い、使った分と同量を購入する方法です。
- 高齢者、乳幼児、要介護者、食物アレルギーのある方は、自分にあった食料や常備薬の準備をしましょう。



じんけん フェスタ 2016 しが

つながるココロ スポーツのちから

9 / 22 木祝

入場 無料

9:50-16:00

ひこね市文化プラザ

全体開場 9:00
グランドホール開場 9:30
彦根市野瀬町187-4
◆無料送迎バス(JR南彦根駅一会場)あり
JR南彦根駅発①8:55 ②9:25/会場発16:15



◆託児所あり(無料)
下記の県庁人権施策推進課まで
要予約 9月14日(水)締切



ホームページはこちら▶▶▶ [じんけんフェスタしが2016](#) 検索

グランドホール 9:50-16:00

▶9:50-10:00

オープニング 合唱

いなえ少年少女合唱団 / 彦根児童合唱団

▶10:00-10:20

開会式典

▶10:20-12:20

パネルディスカッション「スポーツと人権」

コーディネーター: 二宮 清純

パネリスト: 田口 亜希 / 橋本 廣明 / 大内 秀之

各種メディアでおなじみのスポーツジャーナリスト、二宮清純さんを迎えて、障害者スポーツのアスリートやサポートをされている方々といっしょに、スポーツを通じて人権について、みんなで考えましょう。



二宮 清純

▶13:30-14:15

Let's 手話ソング

「365日の紙飛行機」をAKB48のように手話で歌おう!

▶14:15-16:00

映画上映「ベイマックス」(102分) 日本語字幕付き

メッセホール棟 9:00-16:00

■車いす体験コーナー [3F]

スポーツ用車いすや電動車いすなど、いろんな車いすに乗ってみよう!

■KAPLA®で遊ぼう! [2F和室 研修室]

1枚の板を組み合わせていろんなものを作ってみよう。「認めあい・協力しあい」を遊びから学ぼう!

■福祉ロボット展 [1F視聴覚室]

滋賀県立大学機械システム工学科

■バルーンアートプレゼントコーナー [1F展示ロビー] ほか



円形広場 10:00 ~ 15:30

■飲食コーナー (有料)

エコーホール 10:30 ~ 16:00

■彦根市主催事業 人権のまちづくりフェスタ2016

記念講演

「外国人の人権 ~多文化共生を目指して~」

講師: 仲尾 宏 京都造形芸術大学 歴史遺産学科客員教授

カポエイラ演舞 ほか



仲尾 宏

人権に関する県民意識調査 ~ご協力をお願いします~

この調査は、県民のみなさんの人権についてのお考えを聞かせていただき、今後の人権啓発の参考とさせていただきますので、5年に1度行っています。

県内在住の18歳以上の方3,000名を無作為に選び、郵送またはインターネットにより回答いただきます。

調査は9月に実施しますので、お手元に調査票が届いた方は、回答にご協力をよろしくお願いいたします。



滋賀県人権啓発キャラクター
シンケンダー

9月は同和問題啓発強調月間です



ふれあいのまち
差別のないまち

県および市町では、毎年9月を「同和問題啓発強調月間」と定め、様々な啓発活動に取り組んでいます。皆さんもこの機会に同和問題についての正しい理解と認識を深め、差別の解消に向けて、できることから始めてみませんか。